

# ( 参 考 )

## 分 野 別

I.	交 通	…	2
II.	教 育	…	7
III.	医 療	…	12
IV.	防 災	…	17
V.	農 業	…	22
VI.	都 市 計 画	…	24
VII.	住 宅 ・ 空 き 家	…	26
VIII.	自 治 体 窓 口 行 政	…	28
IX.	移 住 ・ 交 流 人 口 増 ・ 農 業 ロ ボ ッ ト	…	34





# I. 交通

---

---

# ① 東京大学大学院情報理工学系研究科附属 ソーシャルICT研究センターとの連携

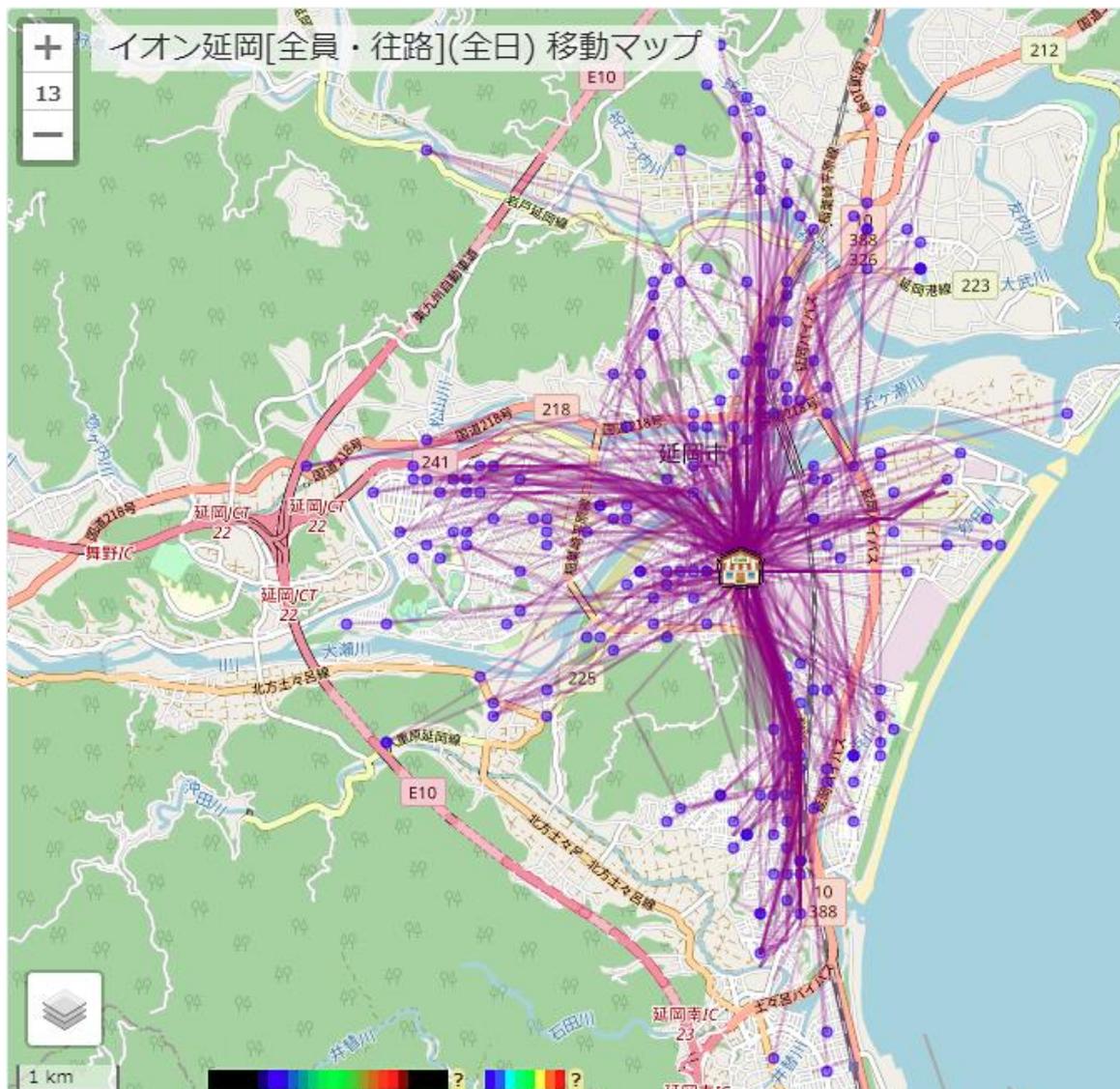
3



「東京大学 大学院情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センターと延岡市の相互の連携・協力に関する協定書の調印式 (2020年11月25日)

# ① 東京大学大学院情報理工学系研究科附属 ソーシャルICT研究センターとの連携

## 行動パターン分析プロジェクト結果

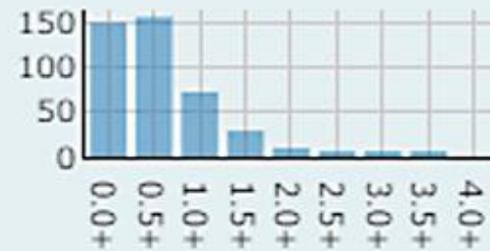


到着時間帯(時×延べ人数)

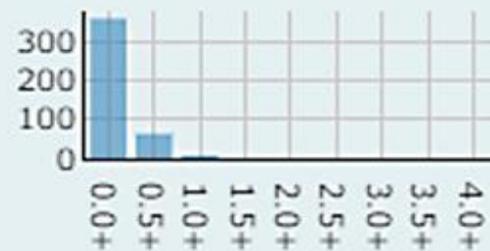


午前～15時頃にピークあり

滞在時間(時×延べ人数)



所要時間(時×延べ人数)



# ② 脱マイカー社会推進のための オンデマンド交通導入事業

令和4年11月1日  
オンデマンド交通「チョイソコのべおか」出発式

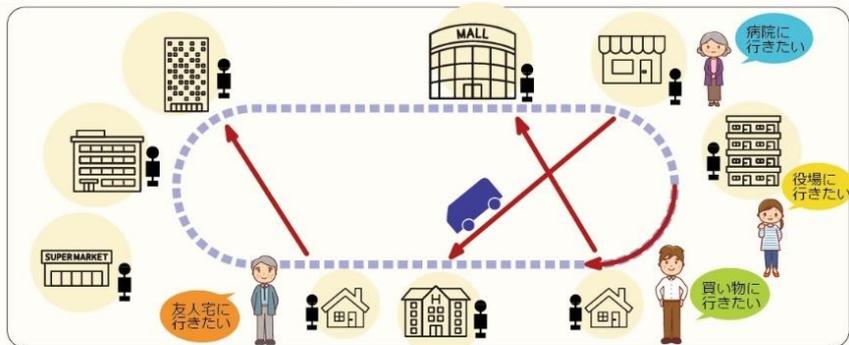


# ② 脱マイカー社会推進のための オンデマンド交通導入事業



## チョイスコのべおか運行

ご希望のタイミングで行きたい場所に利用いただけます。



## チョイスコのべおかって何？

- 停留所から停留所までの乗合い送迎サービスです。
- ご利用には事前の会員登録と乗車予約が必要です。
- 交通事情や他のお客様の乗合いなどにより、到着時間が前後することがあります。
- 車が到着した際にお客様が不在の場合、お待ちできないことがあります。
- 状況によりご希望に添えない場合もありますので早めのご予約をお薦めします。
- キャンセルの場合も、お電話で連絡をお願いします。

### 1. 会員申し込み



チョイスコのべおか  
会員登録申込書に必要事項を記入し  
郵送します。

お問合せ  
延岡市 地域・離島・交通政策課  
電話：0982-22-7039

### 2. 会員証郵送



カードサイズの会員証が送られてきたら  
ご利用可能です。

### 3. ご利用開始



みなさんでお出かけの際に  
ぜひご利用ください！

### 4. 乗車申し込み

#### 電話受付

8:00~16:30

会員登録に記載している  
番号におかけください。



- ①お名前と会員番号
- ②利用希望日
- ③乗り場と行き先
- ④来てほしい時刻または、  
目的地に着きたい時刻

オペレータに上記の希望をお伝えください。  
お帰りの乗車分も一緒に受付いたします。

#### インターネット受付

24時間

<https://nobeoka.aisin-choisoko.com>



マニュアルに沿って必要事項を入力してください。

### 5. 停留所で待つ

買い物  
に行きたい



病院に  
行きたい



役場に  
行きたい



- 指定停留所で5分ほど前からお待ちください。
- 携帯電話をお持ちいただくことをお勧めします。

## II. 教育



# 『スマートシティ』で都会との教育格差を解消

## 慶応大学、東京学芸大学による同時双方遠隔授業



AIで苦手箇所を早いうちに解消

フィードバック

$$\frac{1}{4}x + \frac{2}{3} = \frac{1}{3}x - 1$$

$$\left(\frac{1}{4}x + \frac{2}{3}\right) \times 12 = \left(\frac{1}{3}x - 1\right) \times 12$$

$$3x + 8 = 4x - 12$$

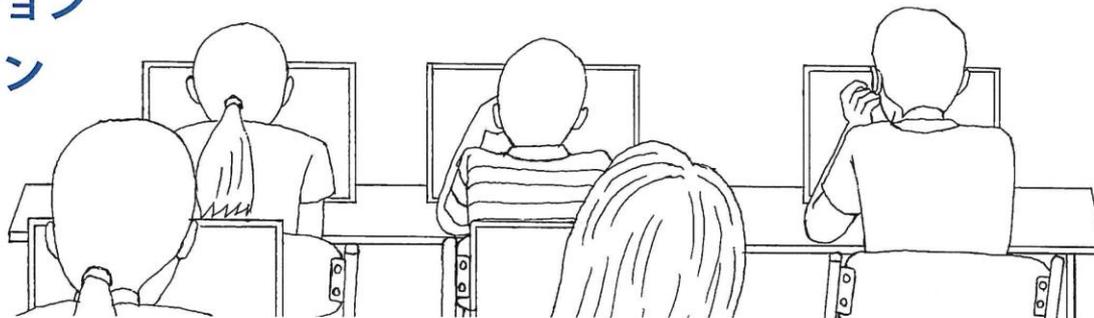
$$3x - 4x = -12 - 8$$

$$-x = -20$$

$$x = 20$$

1人1台IT機器整備+AI導入

- ①論理コミュニケーション
- ②英語ディスカッション
- ③データサイエンス



# ① 同時双方遠隔授業による 論理コミュニケーション教育（市内中学校）

※協力：慶應義塾大学SFC研究所

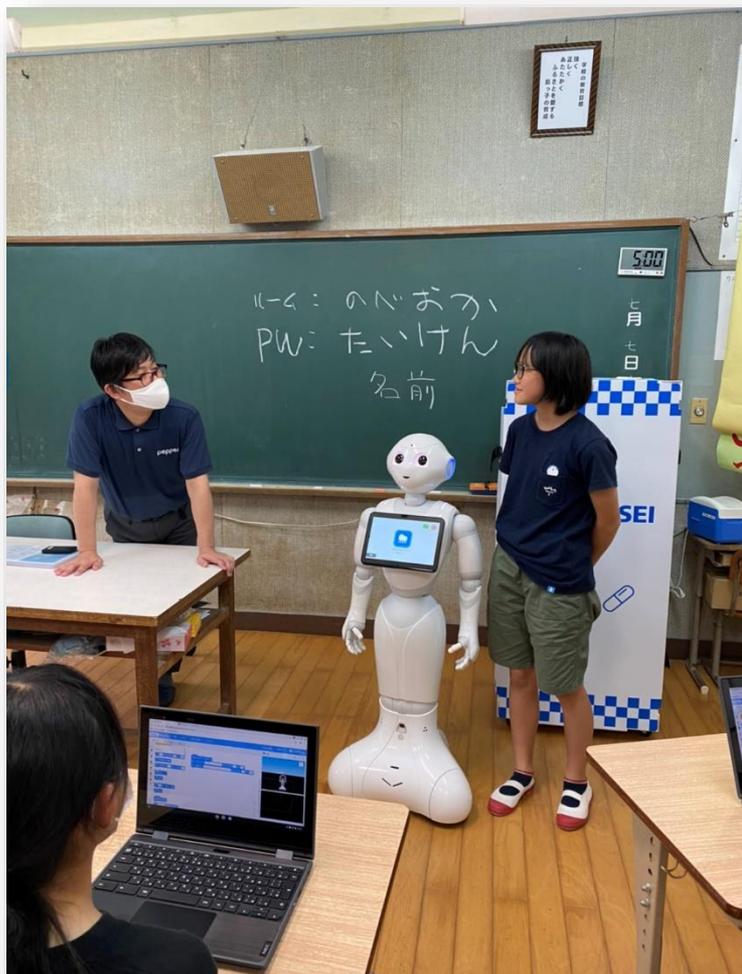


# ② 高校生向け 論理コミュニケーション教育 10

夏休み開催／オンライン 主催（一社）延岡こども未来創造機構



# ③ Pepperを活用した プログラミング教育（市内小学校）



※協力：ソフトバンク 株式会社



# III. 医療



# ①データ連携基盤と次世代モビリティを活用した“救急”サービス 13

救命救急医療の対応力の強化、救命率の向上を図るためのシステムを構築

- ◇個人が健康データを入力・管理するアプリを導入
- ◇救急搬送時のトリアージを最適化するシステムを導入
- ◇救急搬送時に病院と救急隊とで傷病者の医療情報を共有するシステムを導入
- ◇救急搬送の最適な運行管理を行うシステムを導入

◇同時に構築する【データ連携基盤】を通して、これらのアプリ・システムを連携



搬送時間の短縮・迅速な受入・スピーディかつ適切な医療措置



救命率を向上させる！

【総事業費】 329,970千円

# “救急”サービス 運用イメージ図

システム分析⇒最適なトリアージの実施



アプリから診療情報等の取得  
AEDからバイタルデータ取得

傷病者の状態情報等を共有

医療情報の共有  
適切な医療処置



健康・診療データ  
の入力管理



救急車・ドクターカー

迅速・的確な医療処置

搬送時間短縮

最適な搬送経路



搬送先病院

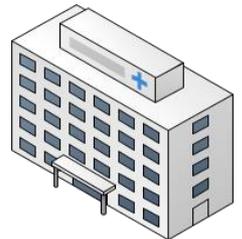


ドクターヘリ

または



空飛ぶクルマ



大学病院等

救急搬送の運行管理  
(救急車・ドクターカー・ドクターヘリ  
・空飛ぶクルマの最適な選択)

参考

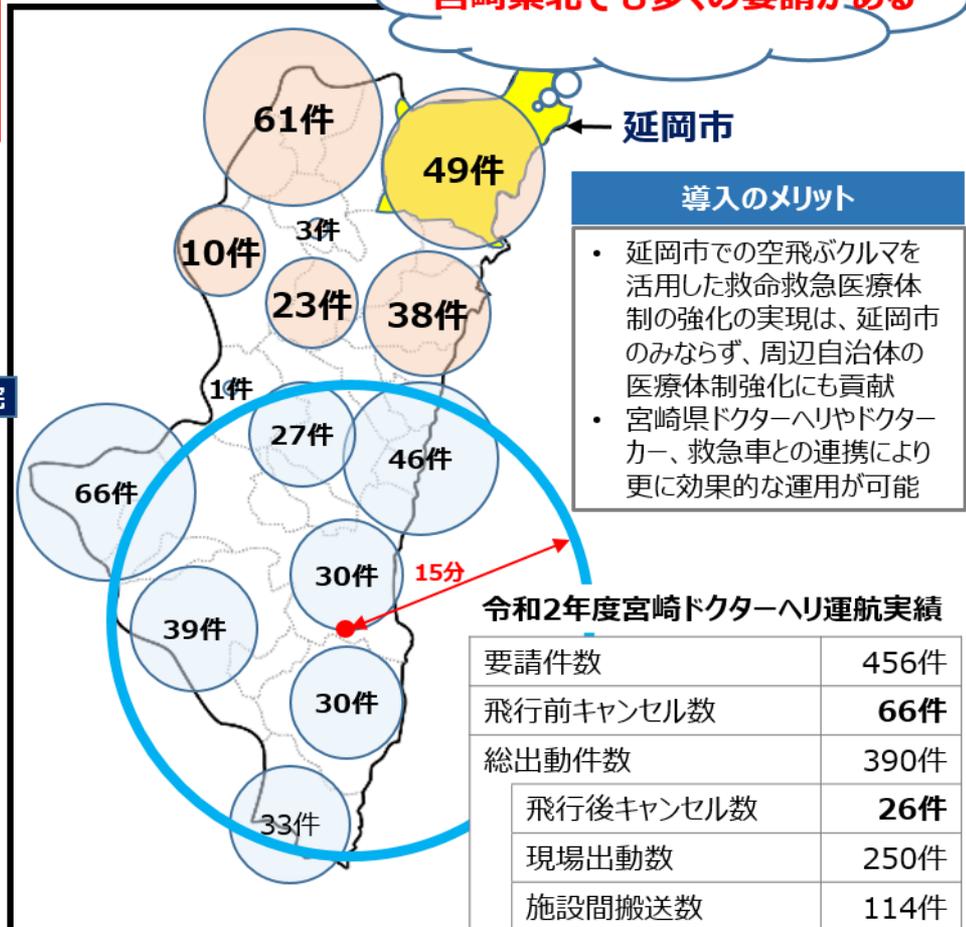
# 延岡市の救命救急医療への対応力強化 ～空飛ぶクルマサービスの導入が急務～

出勤要請から15分以内に医師による治療開始を目標とするドクターヘリの運用(「15分ルール」)において、延岡市及び宮崎県北部地域は、宮崎市の基地病院から15分圏内に含まれておらず、救命救急医療の対応力強化が課題



○ 各県のドクターヘリが約15分で到着可能な範囲 (基地病院から55km圏のイメージ図)

宮崎県北でも多くの要請がある



宮崎市からの出勤は、悪天候や日没までの運行時間が理由で対応できないケースがある。空飛ぶクルマで延岡から出勤できれば、延岡を中心とした県北部における救命救急が飛躍的に拡充される

# ② 東九州メディカルバレー構想における 延岡市と宮崎県・宮崎大学との連携事例

令和4年7月に宮崎大学、宮崎県、宮崎県北部メディカル産業推進協議会（延岡市・日向市・門川町）宮崎県医療機器産業研究会の主催で、医農工連携の推進を目的とした大規模イベントを開催。  
（令和5年度中に第2回を開催予定）

専門家による講演に加え、県内企業をはじめとした多くの企業に協力いただき、16の体験イベントを実施。体験イベント以外にも企業の展示ブースや宮崎大学研究室による発表ブースなど設置し、企業・研究室合わせて25団体が参加した。

参加者は約200名。アンケートでは企業、大学共に「非常に良かった」「良かった」が約9割と、満足度の高いイベントとなった。

### 体験イベント 13:00～15:00

- 03 株式会社L.A.B 「VRゴーグル・映像コンテンツ」
- 05 株式会社昭和 「体位交換機」
- 06 株式会社デンサン 「ふるえAI・心音AI」
- 08 ポストン・サイエンティフィック ジャパン 「人体模型によるカテーテル操作」
- 12 LOCOBOT株式会社 「LOCOBOT」
- 14 宮崎大学医学部附属病院臨床研究支援センター 「健康評価のための臨床研究の実施と体制整備」  
食品臨床試験部門・有村保次
- 15 宮崎大学工学部工学科 機械知能工学プログラム・李根浩 「ボール回収ロボット」
- 16 宮崎大学工学部・川末紀功仁 宮崎大学医学部・金子政晴 「豚の体重が見えるメガネ」 「新生児身体測定システム」



### スペシャルセミナー 10:00～12:00

#### 開会挨拶 10:00～10:15

宮崎大学	理事・副学長	片岡 寛章
宮崎県商工観光労働部	部長	横山 浩文
延岡市	副市長	中間 弘



#### 基調講演 10:15～10:30

宮崎大学医学部  
血液・血管先端医療学講座 教授 鶴田敏博  
「人々を繋ぎ宮崎から世界へ」



#### 講演 I 10:30～11:00

宮崎大学医学部附属病院 病院長 帖佐悦男  
「ロコモザワールド宮崎 一産官学連携～」



#### 講演 II 11:00～11:30

株式会社昭和 代表取締役社長 黒木保善  
「ものづくり企業×医工連携」  
～昭和の医療・福祉機器開発の取組について～



#### 講演 III 11:30～12:00

国立がん研究センター東病院 医療機器開発支援室  
「承認審査と開発支援に携わった経験 室長 富岡 寛  
から考える医療機器開発のポイント」



# IV. 防 災



## ※協力：東京大学ソーシャルICT研究センター

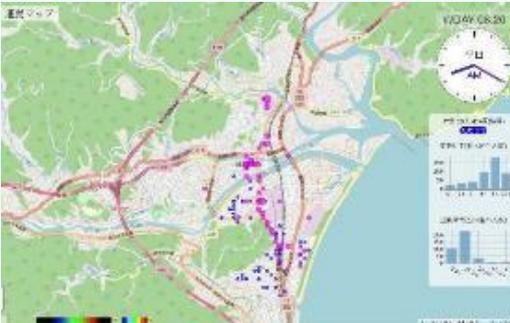
- **市民の皆様のご協力**により**個人の移動データ**を収集・分析し**公共交通最適化に活かす**
- 人、時間、場所等ごとに特徴を捉え、交通の時刻表やバス停等の場所を変化させたときに**人流がどう変化するか等を予測**
- **時間帯ごとの人流に応じた避難所整備を**

### (1) 時間帯ごとの人の流れ

① 7時45分の通勤者の位置



② 8時20分の通勤者の位置



⇒ **濃い色 = 人の多い所に避難所を確保**

### (2) 人が集まる場所への移動の流れ

① イオン延岡への移動ルート



② 県立延岡病院への移動ルート



⇒ **最適なバス路線・時刻表づくりに活かす**

～日本のモノの流れの専門家が中心となり、「豊かな災害生活実現」を設計する～

- 慶應義塾大学地域ICTプラットフォームラボ災害物資支援DXWGに集う産学官を代表

- － 玉生弘昌(株式会社プラネット代表取締役会長)
- － 飯沼正満(株式会社インテック常務執行役員・情報流通基盤サービス事業本部長)



2022年8月、宮崎県延岡市を活動拠点に災害物資支援DX研究開発を始動。

# 慶應義塾大学地域ICTプラットフォームラボ災害物資支援DXWG 20

～日本のモノの流れの専門家が中心となり、「豊かな災害生活実現」を設計する～

- 慶應義塾大学地域ICTプラットフォームラボは、デジタル田園都市構想に代表される、重要インフラの地域主導でのイノベーションを目的に地域ICTインフラ開発に実績を有するインテックを招聘して2020年に設立されました。
- 宮崎県延岡市においては、延岡市・延岡市教育委員会・慶應義塾大学SFC研究所による連携協定（2021年3月）、延岡市・慶應義塾大学SFC研究所・AJS株式会社の連携協力協定（2021年12月）に基づく地域創生に関する研究活動が推進されています。
- 民間災害物資支援DXWGは、日本のモノの流れは卸や物流VAN業者が担っているとの前提に立ち、災害が高頻度かつ常体化する中、**平時に民業の商品発注で使っている物流インフラを緊急時に公の災害物資提供インフラへ変換することを可能にするDXをまずは日用品関連において開発すること**を目的に産業界から日本の物流VANの中興の祖・株式会社プラネット玉生弘昌代表取締役会長を座長に、共同座長に國領二郎慶應義塾大学教授を迎え、2022年3月に発足。
- 2022年8月、宮崎県延岡市を活動拠点に災害物資支援DX研究開発を始動。**

## 1. WG目的

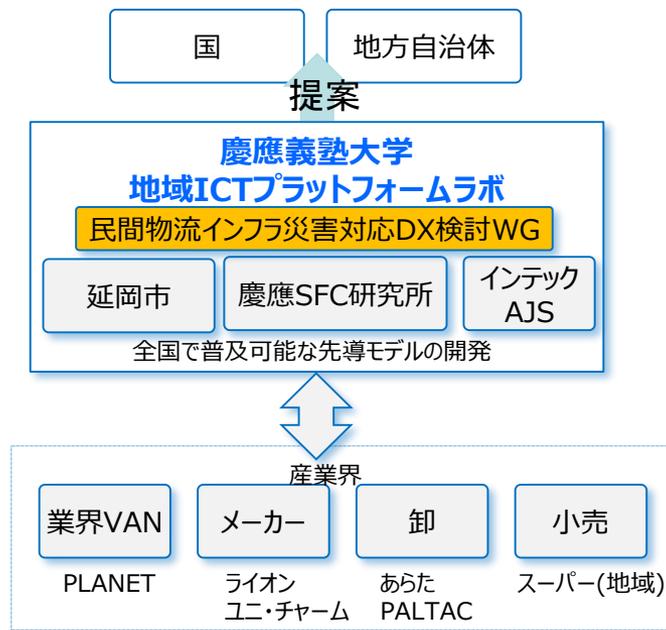
全国の市町村で普及可能な「豊かな災害生活を実現」する災害物資支援DXモデルを延岡市で研究開発すること

## 2. WG発足背景

近年の自然災害の頻度と被害規模の拡大に対応し、政府は2019年度から予備費を従来の3500億円から5000億円に拡大するなど、政府挙げての防災対策を推進しています。一方、災害時の物資支援をより効率よくニーズにあった物資提供を実現するためには課題が存在することが確認されています。そこで、日常EDIネットワークおよび物流を活用した実現方法を検討し、実装に向けた具体的計画を作成することが求められます。

## 3. 活動基本方針

- 共同座長に読谷山市長、委員に中間弘副市長をお迎えし、産学地方行政の連携で初期開発を進める
- 全国の市町村で普及可能な「豊かな災害生活を実現」する災害物資支援DXモデルを延岡市で研究開発する
- あるべき姿を描いた報告書を年内に中間、年度内に最終報告というスケジュールで研究開発を進める



優良モデル導入支援型  
【TYPE 1】

【事業名】

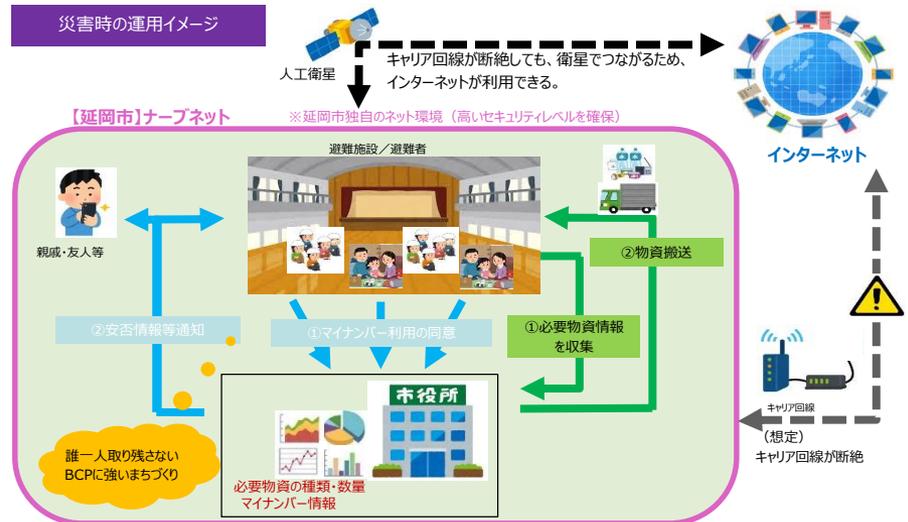
平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるwell-beingの実現  
 ・採択額 99,575千円  
 (交付対象事業費 199,150千円/国費50%・残りの市費負担額は交付税措置)

【事業概要】

自治体情報掲示板利用者、システム内のWi-Fi環境利用者、市公式サイト利用者の個人情報保護に関する同意管理を実施し、通常の方法では、行政が知り得ない個人の情報をシステム内で入手し、平時の関係人口の情報把握や観光客や市民のニーズ把握、市公式サイトへのアクセス状況分析などにより、個別最適化された情報提供を可能とするとともに、地域通貨と組み合わせて市内消費の拡大を図る。

また災害時においても、自前のネットワークを構築することで、ネットワーク内でのインターネットを含む通信が可能とすることにより、外部サーバー故障によるネットワークダウンや携帯電話回線の規制時においても、必要な情報を伝達することが可能とするともに、さらにセキュアな通信環境で情報を伝達できるので個々人の支援や生活必需品の確保も可能とする。

こうした平時と災害時の両方に対応したまちづくりを展開することにより、人口減少等に歯止めをかけ、地方創生の推進を図る。



# V. 農業



# スマート+脱炭素型農業の推進

株式会社テムザック（本社：京都市）は、ワークロイド（働くロボット）メーカーとして、複数のロボットが互いにコミュニケーションしあって協働する分野のパイオニアとされています。

この度、延岡市に研究開発拠点を設けて北浦町の田を舞台に、稲作ロボットを開発し、米粉生産につなげる計画で、延岡進出の立地調印式と、延岡市及び一般財団法人北浦町農業公社と研究開発のための連携協定の調印式を行いました。



R4.12.15(木)締結式

今後、延岡市は同社と連携し耕作放棄地の増加を食い止める「スマート稲作改革」を進めます。

- ・ドローンで粃の直播
- ・合鴨農法のカモの代わりに複数のロボットを活用
- ・脱炭素型プラントによる米粉製造

# VI. 都市計画



# ① 安心と温もりの市民参加型GISクラウドサービス構築事業

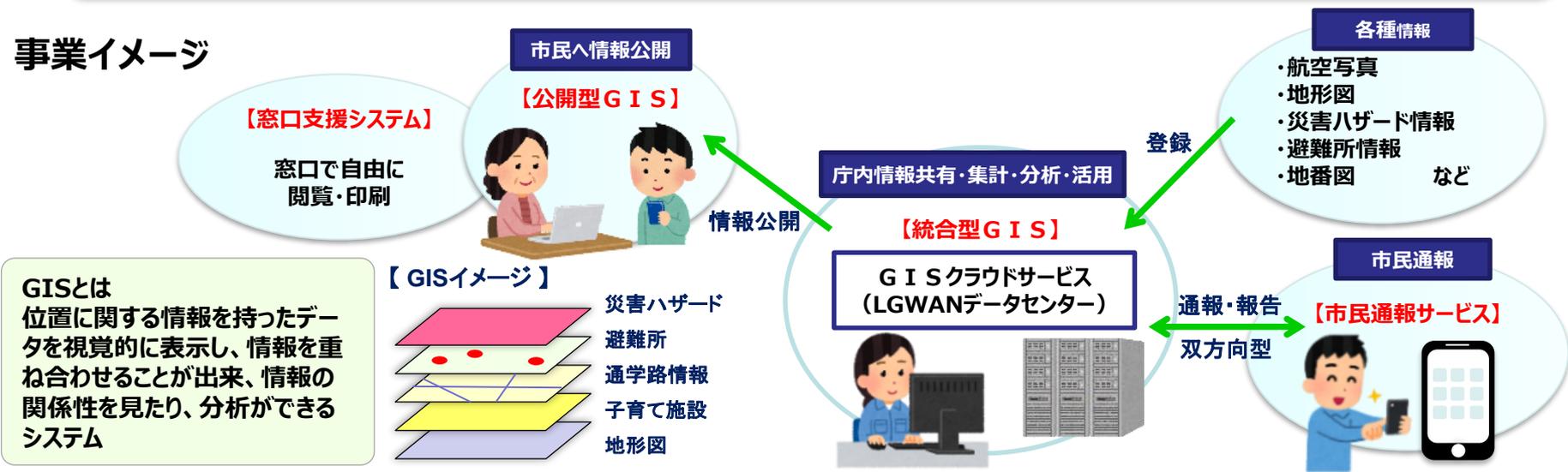
「市民サービス向上」・「業務効率化」のためのGISクラウドサービスを構築

◇市民公開用の「公開型GIS」と庁内共有用の「統合型GIS」を構築

◇窓口支援システムの構築（公開型GISを活用）

◇市民通報サービスの構築（統合型GISを活用）

## 事業イメージ



GISとは  
位置に関する情報を持ったデータを視覚的に表示し、情報を重ね合わせることが出来、情報の関係性を見たり、分析ができるシステム



【総事業費】 106,512千円

## VII. 住宅・空き家



## HYPHENATION in NOBEOKA

### 空き家のDIY体験イベント / 空き家活用 株式会社

(目的) 空き家の利活用の体験を通して、空き家問題についての啓蒙を行い、  
当イベントのより一層の浸透、市民サポーターの増加を図る。



## VII. 自治体窓口行政



# ① 誰一人取り残さないポータルアプリ構築事業

令和4年12月1日 リリース!

## 延岡市の関連アプリが これ1つに!



延岡市が提供しているさまざまなアプリを一つにまとめ、市からのお知らせや防災・健康情報など、日常生活において需要の高い分野の行政情報を、スマートフォンで気軽にご覧いただけるアプリです。便利なデジタルサービスを今後も続々追加していきます。



4つをまとめた 便利なアプリをご利用ください。



アプリを  
スマートフォンに  
インストールすれば、  
ご利用いただけます。

iOSの方は  
こちらから  
ダウンロード



Androidの方は  
こちらから  
ダウンロード



アプリの  
使い方



① ホーム  
のべおかポータルより送信されたプッシュ通知の一覧が表示されており、選択すると詳細を確認することができます。



② アプリ  
延岡市関連アプリのアプリ一覧が表示されています。「アプリを追加する」ボタンを選択すると、関連アプリの追加が可能です。アプリアイコンを長押しすると並び替えや、一覧表示からの削除を行うことができます。



③ 防災情報  
延岡市の防災に関する情報を確認することができます。



④ 設定  
プッシュ通知の受信や登録情報など、各種設定の変更を行うことができます。お問い合わせメールを送りたい場合は、「お問い合わせ」を選択して下さい。

## シニア向けスマートフォン教室 ～デジタルデバイト対策～



## ② マイナンバーカード登録・利用促進

# マイナカードで住民票などが10円にとれます

◆ **令和5年3月1日から**（当分の間）

### ・コンビニ交付とは？

マイナンバーカードを利用することで、コンビニエンスストア等に設置してあるマルチコピー機から、住民票などの証明書を取得できるサービスです。

※ 利用できる時間 **6時30分～23時**（12月29日～1月3日および保守点検日を除く）



◎ 窓口交付と同額だったコンビニ交付手数料が、以下のとおり変わります。

- ① 住民票の写し（300円）
- ② 印鑑登録証明書（300円）
- ③ 戸籍の全部(個人)事項証明書（450円）
- ④ 戸籍の附票の写し（300円）
- ⑤ 各種税証明書（300円）



※お好きなときに、混まずにとれます！

## マイナカード窓口

### ◆市役所

○ 日曜窓口 (4月・5月は第2・第4日曜日)

期間：4月 9日(日) 4月23日(日)  
5月14日(日) 5月28日(日)

時間：8時30分から16時まで



マイナポイントの申込期限は **令和5年9月末** までです。



【事業名】

のべおかポータルと新マイキープラットフォームを活用した「行かない市役所」構築事業

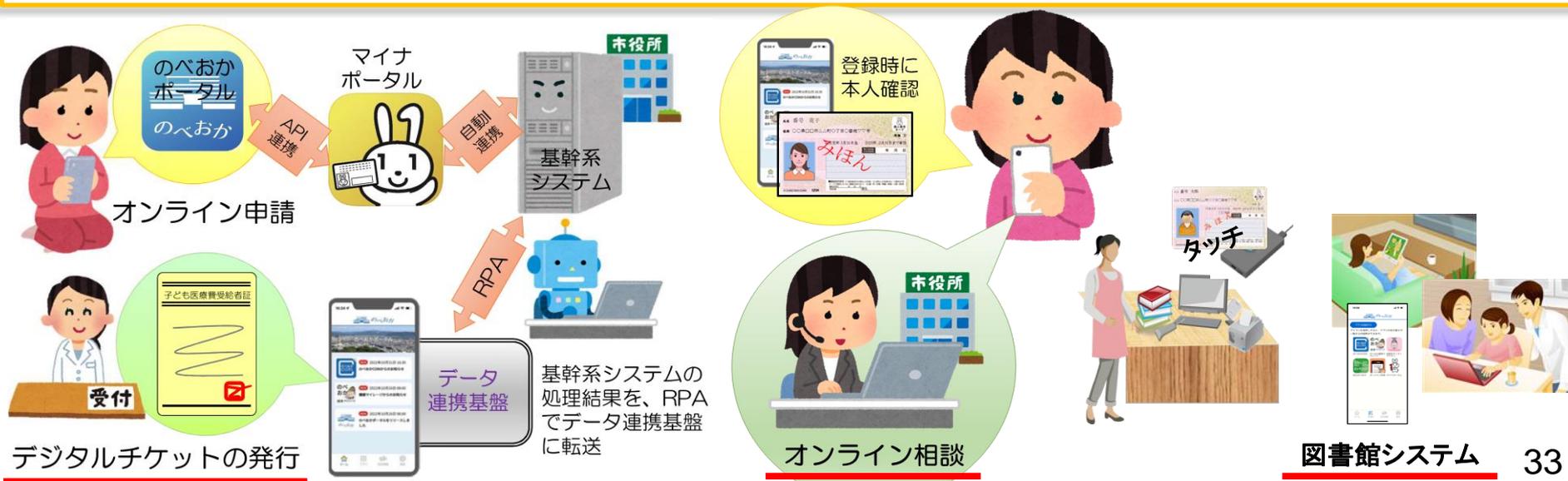
・採択額 287,520千円

(交付対象事業費 287,520千円／国費100%)

マイナンバーカード利用  
横展開事例創出型  
【TYPE X】

【事業概要】

地域課題の解決や魅力向上等の地方創生につながる本市独自の各種施策の推進に合わせ、市民カード化構想における新マイキープラットフォームを活用し、本市が令和4年度にデジタル田園都市国家構想TYPE1及びTYPE2で実装した、住民向けフロントサービスである「のべおかポータル」とデータ連携の要となる「データ連携基盤」を連携し、行政手続の一气通貫したデジタル対応による「行かない市役所」（①オンライン申請とデジタルチケット（子ども医療費受給資格証）の発行、②オンライン面談・相談、③図書館システムの構築）を実現させ、住民サービスの向上及び行政事務の効率化を図る。



IX. 移住・交流人口増  
・農業ロボット



## 【事業名】

「自然といのちを大切にできる地域づくり」による移住・交流人口増促進事業

・採択額 40,369千円

（交付対象事業費 80,738千円／国費50%・残りの市費負担額は交付税措置）

横展開型

## 【事業概要】

人口減少の顕著な中山間地域等において、農林業の振興を図るため、狩猟免許取得者を増やすのみならず、デジタル技術を活用して、有害鳥獣が人里に近づかないような仕組みを整備し、地域産業の好循環を生み出すとともに、自然や動物と人間の営みの調和に着目した「里山塾」による人材育成にも取り組み、このような自然といのちを大切にできる地域づくりに共感するペット愛好家等の移住や交流人口の増加を図っていく。

また、農業経験のない人でも農業に取り組めるよう、最新の技術を活用したロボットによる稲作支援等に取り組み、新規就農者の確保や移住促進を図り、総合的に地方創生を進める。

